SONY

3-274-611-**05**(1)

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FM/AM PLL シンセサイザーラジオ

ICF-M55

 Printed in China

品　名	ラジオ
型　名	ICF-M55
保証書	T02-1

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

主な特長

- 安定した受信ができる、PLLシンセサイザー採用のFM/AMラジオ。
- 常備にも適したコンパクトサイズ。
- FM15局、AM10局、合わせて25局の放送局を記憶（プリセット）。プリセットしたあとはプリセット番号を選ぶだけで簡単選局。
- 自動的に放送局を受信する、オートスキャン選局。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所に置かないでください。
  - 一温度が非常に高い所（40℃以上）や低い所（0℃以下）。
  - 一直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 一風呂場など湿気の多い所。
  - 一窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。ほこりの多い所。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体の内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気が変化し、使えなくなることがありますのでご注意ください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- 別売りのイヤホンをお使いになるときは、常によい音でお聞きいただくために、イヤホンのプラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- イヤホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口、ソニーサービス窓口に相談してください。
- 防滴機構になっていませんので雨や雪、水しぶきのかかるところでは充分にご注意ください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、もう1度チェックしてみてください。

ボタンを押しても動作しない

→ ホールド機能が働いている
ホールドスイッチを操作して、ホールド機能を解除する。

表示窓の文字や記号が薄くて見えない

→ 乾電池が消耗している
→ 極端に暑い場所や寒いところで使っている

雑音が多く、音が悪い

→ 乾電池が消耗している
→ 電波が弱い
建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください。

プリセット選局しても、聞きたい放送局が受信できない

→ 間違った番号のプリセットを選んでいる
→ プリセットした記憶が消えている
もう1度、プリセット番号に局を記憶させてください。

自動選局できない

→ 電波が弱いところにいる
手動選局で受信してください。

修理内容により、プリセット選局で記憶させた放送局が消えてしまう場合があります。重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。

主な仕様

周波数範囲

バンド	周波数範囲	周波数ステップ
FM	76 MHz～108 MHz	0.05 MHz
AM	531 kHz～1,710 kHz 530 kHz～1,710 kHz	9 kHz 10 kHz

スピーカー	直径3.6 cm、丸形 7.2Ω　1個
出力端子	∩（イヤホン）端子（ø3.5 mm ミニジャック）
実用最大出力	80 mW（JEITA*）（スピーカー使用時）
電源	DC 3 V、単4形乾電池2個
最大外形寸法	約100.7 mm×66.4 mm×33.9 mm（突起部含む）（幅×高さ×奥行）（JEITA） 約100 mm×65 mm×25 mm（突起部含まず）（幅×高さ×奥行）
質量	約120 g（乾電池含む）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

ソニー単4形乾電池（お試し用*）（2）
取扱説明書・保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

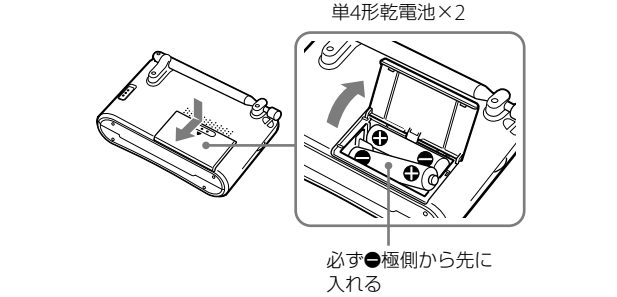
保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

▶準備する

乾電池を入れる

1 **電池入れのふたを開け、単4形乾電池2本を⊕と⊖の向きを正しく入れる。**

初めて乾電池を入れると、表示窓に「AM12：00」が点滅します。時計を合わせると点滅は止まります。時計を合わせるときは、「時計を合わせる」をご覧ください。

2 **ふたを閉める。**

乾電池の持続時間（単位：約　時間）　（JEITA*）

放送の種類		FM	AM
ソニー単4形（LR03）アルカリ乾電池	スピーカー使用時	21	28
ソニー単4形（R03）マンガン乾電池	スピーカー使用時	8	10.5

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

電池の残量を表示窓でお知らせします。

残量表示

残量は充分です。

↓

残量が少なくなってきました。

↓

電池が消耗しています。乾電池を新しいものと交換してください。電池交換後、電源ボタンを押すと、残量表示は「▮▮▮」に変わります。
電池の残量がなくなると、「ピーッ」と鳴り、電源が切れます。

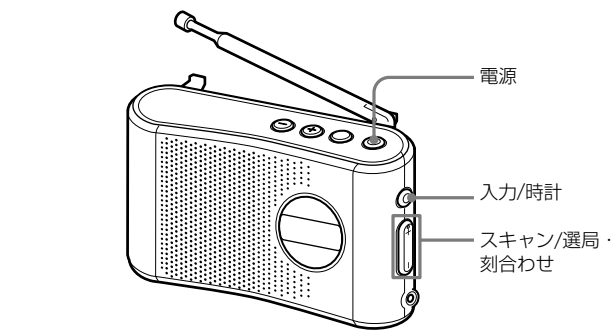
ご注意

交換するときは、40秒以内に入れ換えてください。40秒以上経過すると、現在時刻やプリセット選局で記憶させた放送局が消えてしまいます。そのときはもう一度設定し直してください。

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、図のように取り付けてください。

① ふたの左側のツメを穴に差し込み、
② 右のツメをふたが収まる部分の右側に引っ掛ける。
③ そのまま右のツメを穴に向けて滑らせる。

時計を合わせる

1 **電源ボタンを押してラジオの電源を切る。**

2 **入力・時計ボタンを2秒以上、時計表示の「時」が点滅をはじめるまで押し続ける。**

3 **スキャン/選局・時刻合せ ＋または－ボタンを押して「時」を合わせる。**

押し続けると速く進みます。
AM12:00＝真夜中、PM12:00＝正午

4 **入力・時計ボタンを押す。**

「時」の点滅が止まり「分」が点滅します。

5 **スキャン/選局・時刻合せ ＋または－ボタンを押して「分」を合わせる。**

押し続けると速く進みます。

6 **入力・時計ボタンを押す。**

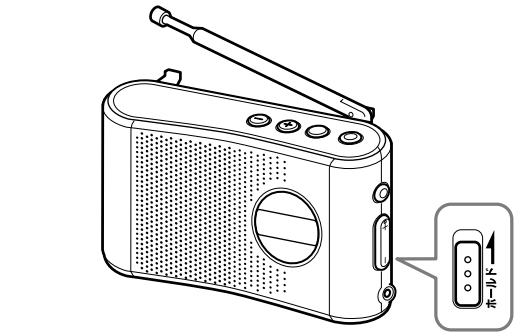
「分」の点滅が止まり「：」が点滅を始め、時計が動き出します。

分を合わせたあと、時報（117番など）と同時に入力・時計ボタンを押すと、より正確な時刻が設定できます。

時計合せをはじめてから、約65秒以上操作を行わないと、自動的に時計合せに入る前の状態に戻ります。

時計合せを途中で止めたいときは、電源ボタンを押して一度ラジオの電源を入れます。その後、再び電源ボタンを押してラジオの電源を切ると、時計合せに入る前の状態に戻ります。

裏へつづく ➡

誤操作を防ぐ―ホールド機能

ホールドスイッチを矢印「⟹」の方向に動かし、表示窓に「o━」を点灯させます。
すべてのボタン操作を受け付けなくなります。
不用意に電源が入ったり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。

ホールドを解除するには

ホールドスイッチを矢印「⟹」の反対方向に動かして「o━」を消します。

海外でAM放送を受信するときは

― AM周波数ステップ(間隔)の切り換え

受信するAM周波数ステップ(間隔)を、お使いになる国にあわせて切り換える必要があります。工場出荷時、このラジオはAM 9 kHzに設定されています。

地域	周波数ステップ
北米、南米の国々 /地域	10 kHz
日本国内・その他の国々 /地域	9 kHz

1. **電源ボタンを押してラジオの電源を切る。**
2. **入力・時計ボタンを押しながら、電源ボタンを約 5 秒以上押したままにする。**
   「ピピッ」という音がして、周波数ステップが切り換わります。
   表示窓に「10kHz」または「9kHz」の表示が約2秒間点灯します。
   元の周波数ステップに戻すには、手順2をもう1度行なってください。

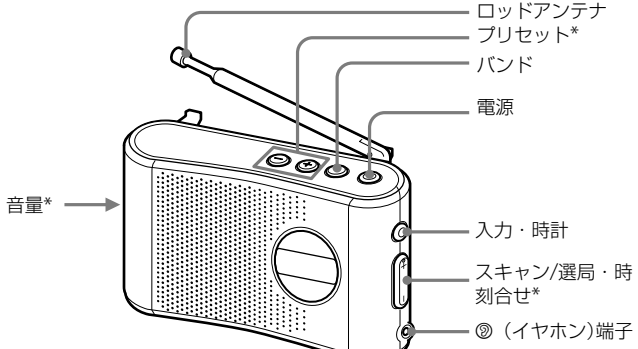
ご注意

- AM周波数ステップを切り換えると、プリセット番号に記憶しておいたAMの放送局が消えます。時計表示は変わりません。
- AMの周波数ステップを「10kHz」に切り換えると、日本国内(9kHzステップ地域)でのAM放送の受信はできません。

▶ラジオを聞く

自動的に放送局を受信する

ーオートスキャン選局(自動選局)

自動的に放送局を受信して止まり、放送を聞くことができます。放送局を簡単に選局できます。

* 音量つまみの音量を上げる側、プリセット+ボタンの上、スキャン/選局・時刻合せ+ボタンの上に凸点が付いています。操作の目安としてお使いください。

1. **電源ボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**
2. **音量つまみで音量を調節する。**
3. **バンドボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。**

4. **スキャン/選局・時刻合せ+または−ボタンを押し続け、周波数が自動的に変わり始めたら離す。**
   +ボタンでは上がり始め、−ボタンでは下がり始めます。放送局を受信すると、放送が聞こえます。
   オートスキャンを止めるには、スキャン/選局・時刻合せ+または−ボタンを押します。

電波が弱く、聞きたい放送局で周波数が止まらないときは
ーマニュアル選局(手動選局)

スキャン選局/時刻合せ+または−ボタンを繰り返し押して、聞きたい周波数にします。

電源を切るときには

電源ボタンをもう1度押します。

別売りのイヤホンで聞くには

イヤホンを(イヤホン)端子につなぎます。スピーカーからは音が出なくなります。

ヒント

オートスキャン選局/マニュアル選局のとき、ともにFM周波数ステップ(間隔)は0.05MHz単位で変わりますが、表示は0.1MHz単位で変わります。(例:95.7 MHzのときも95.75 MHzのときも「95.7 MHz」と表示されます)
AM放送受信時、AM周波数ステップを10kHzに設定した場合は10kHzずつ変わります。

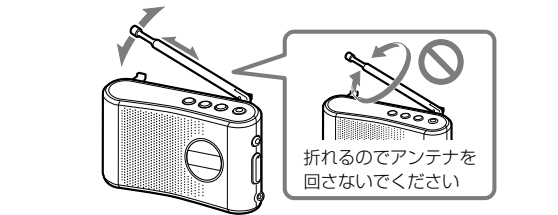
ご注意

- 電波が弱い場所では、オートスキャン選局を行っても放送局が受信されないことがあります。窓際など受信状態の良いところでもう1度行なってください。
- 電波の強い時や混信が多い時は、放送局のない周波数でオートスキャンが止まる場合があります。その場合は再度スキャンを開始してください。

受信状態を良くするには

FM放送の場合

ロッドアンテナの長さと角度を調節してください。

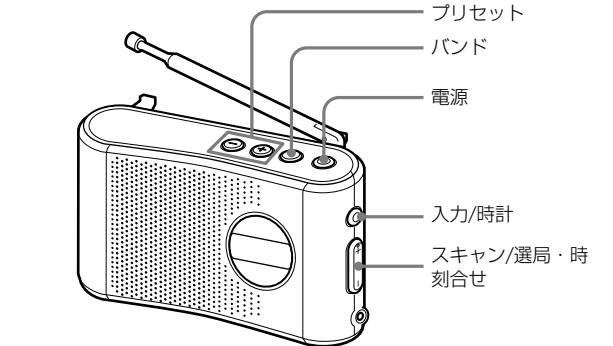
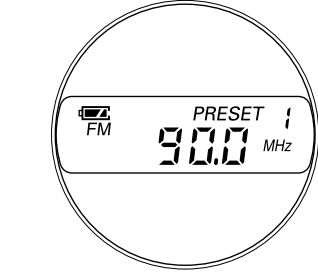
- ロッドアンテナの角度を調整するときは、付け根の部分を持ってください。
  先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。

AM放送の場合

AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。

- 乗り物やビルの中では電波が弱められますので、なるべく窓際でお聞きください。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く

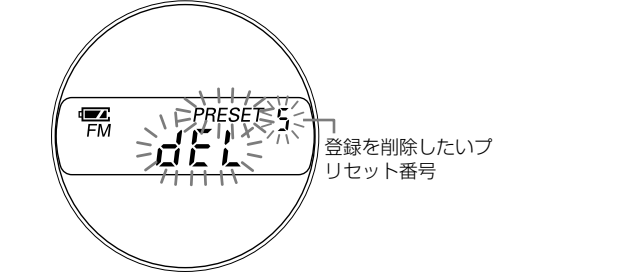
ープリセット選局

FMに15局、AMに10局、合わせて25局まで記憶させることができます。聞くときは、プリセット番号を選ぶだけで受信できます。

1. **電源ボタンを押してラジオの電源を入れる。**
2. **バンドボタンを押して、バンドを選ぶ。**
3. **スキャン/選局・時刻合せ +または−ボタンで記憶させる放送局を受信する。**
   (「自動的に放送局を受信する」のオートスキャン選局またはマニュアル選局 参照)
4. **入力・時計ボタンをプリセット番号が点滅するまで押し続ける。**
   すべてのプリセット番号に放送局が登録されているときは(工場出荷時はこの状態)、「1」が点滅し、同時に「PRESET」が表示されます。
   放送局が登録されていない番号があるときは、その番号のみが点滅し、「PRESET」は表示されません。
   操作をしないまま約65秒以上経過すると、点滅が止まり、手順4を行う前の状態に戻ります。
5. **プリセット +または−ボタンを押して登録したいプリセット番号(FMでは1-15、AMでは1-10)を選び、入力・時計ボタンを押す。**
   放送局が登録されている(「PRESET」が一緒に表示される)番号を選んで入力・時計ボタンを押すと、登録されていた放送局は消え、受信している放送局が登録されます。
   例) FMのプリセット番号「1」に90.0MHzを記憶させたときの表示。番号の点滅が止まります。

プリセット登録を途中で止めたいときは、バンドボタンを押します。
手順4を行う前の状態に戻ります。

登録させた局を聞く

1. **電源ボタンを押してラジオの電源を入れる。**
2. **バンドボタンを押して聞きたいバンドを選ぶ。**
3. **プリセット +または−ボタンを押して聞きたい局を登録したプリセット番号を選ぶ。**
4. **音量つまみを回して音量を調節する。**

登録させた局を削除する

1. **電源ボタンを押してラジオの電源を入れる。**
2. **バンドボタンを押してバンドを選ぶ。**
3. **プリセット +または−ボタンを押して削除したい放送局を登録したプリセット番号を選ぶ。**
4. **入力・時計ボタンを押し続けて、「PRESET」、「dEL」とプリセット番号が点滅したら離す。**
   (入力・時計ボタンを押し続けると、「プリセット選局」の手順4を行ったあとの状態になりますが、さらに入力・時計ボタンを押し続けると下図のようになります)。

5. **点滅中に入力・時計ボタンを押す。**
   登録が削除され、そのプリセット番号は空になります。受信中の放送局は、1つ前のプリセット番号(入っていなければ、さらに前)に登録されている局に変わります。
   操作をしないまま約65秒以上経過すると、手順4を行う前の状態に戻ります。
   プリセット削除を止めたいときは、バンドボタンを押します。
   手順4を行う前の状態に戻ります。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ･･････････0120-333-020	フリーダイヤル ･･････････0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話 ･･････････0466-31-2511	携帯電話･PHS･一部のIP電話 ･･････････0466-31-2531
	※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1